

信念通信
自由民主党
衆議院議員
城内みのる
自民党



2012年12月に安倍政権が誕生してから3年半が経ちました。安倍総理が進めてきた「アベノミクス」も、だんだんと効果が表れてきています。今年7月に行われた第24回参院議員選挙でも争点になったその成果。改めて考えてみながら、私が総理に間近で仕えてきた期間を振り返ってみたいと思います。

政権交代から3年半…前進続けさらに前へ

アベノミクスの成果とは



福田朋事務局長のもと神道政治連盟国会議員懇談会事務局長会議(下)参院選で岩井しげ彦候補出席式にて友党・公明党の浜田昌良候補とともに

数字が示す進歩

早いようで現政権が発足してから3年半。総理が提唱し、推進してきた「アベノミクス」は徐々に、そして確実に浸透してきています。

まず「有効求人倍率」が史上初めて全都道府県で1倍を超えました。ちょっと言葉が難しいかも知れませんが、簡単に言うと「仕事を探している人より、求められている人数の方が多くなった」ということです。民主党から自民党へ政権奪取した2012年当時は0.83倍でしたから大きな進歩です。

あくまで理論上ですが、より好みなければ誰でも仕事に就けるということですから、若者の就職率も、大学生は調査を始めた97年卒以来、最高となる97.3%。高校生も97.7%で24年ぶ

りの高水準になりました。また企業収益も過去最高の70.8兆円(2015年)になりました。大企業だけではなく、中小企業の収益も過去最高です。さらに外国人旅行者数も過去最高の約2000万人と、色々なデータが出てきます。

その中で「実質賃金が上がっていない」という声が野党を中心に上がっています。給与は3年連続で2%水準の賃上げを実現しているのですが、確かにアベノミクスの恩恵は地方のすみずみ、中小零細企業まで届いていないところもまだあります。総理が明言して送り込まれた消費税も2年半先送りされました。

ただそれは、デフレ脱却を優先したということ。日本経済を旅客機に例えると、まだ機体が地面にめり込んだ状態です。それが滑

走路に出て、アクセルを踏んで徐々に加速。飛び立って安定飛行に入ったらアクセルを離してもいい。アクセルとブレーキのバランスが大切ということ。そうなること、よく「社会保障の財源はどうするのか」と聞かれますが、これはバラマキや無駄遣いをやめるなど行政改革を通じて行っていくなどの方法があります。

思い出して下さい。前政権の時は、選挙区を歩いていても「民主党にはガッカリ、自民党にはコリコリ」という声をよく聞きました。その時を考えると、今は確実に前へと進んでいます。

7月10日に参議院選挙がありました。衆議院議員の私は応援弁士として選挙区内や全国を駆け回り、各地で自民党を応援する声もたくさん頂きました。その中で皆様から頂いた結果は、真摯(しんし)に受け止めたかと思っております。

政権交代から3年半。私を取り巻く環境も変わりました。政権発足後には外務大臣政務官、外交部会長として外務副大臣と要職を任せられ、総理が展開する「地球儀を俯瞰する外交」を間近で見てきました。その中で常々感じたのは国民の皆様、そして浜松・湖西の方々のご支援のありがたさです。私は引き続き地元の方々の声を胸に頑張っていきたいと思っております。

城内みのるが世界奔走し実感を

サミットは地球儀外交の結晶

番記者が直撃
 外交官出身で安倍政権では外務大臣政務官、外交部会長、外務副大臣と外交畑を歩いてきた城内氏。世界中を飛び回った3年半を振り返るとともに、今の日本の外交について、地球儀外交の申し子はどう考えるのか。永田町で同氏を担当する番記者が直撃。そしてコラム記事で城内氏と安倍首相との関係について考察した。

危機対応に情報重要
 「これまでの3年半を振り返ってどうか。」「何度も言いますが、日本外交を担う者として職務を全うし

ていく中で感じていたのは、国民の皆様、そして浜松・湖西の方々のご支援のありがたさ。地元に戻った時多くの方々から力強い激励と、ねぎらいの声をかけて頂き、元気を頂けました」

「大臣政務官に就任直後の2013年1月にはアルジェリアで邦人人身事件が起こった。」「事件発生直後に現地に入り、各国各機関と連携して人身の安全確保に奔走しました。情報が錯綜し、正確な情報収集と情報管理を徹底しました」

「その中で見えたものは、情報収集力、情報保全が我が国の課題として明らかに、外



その時は外務大臣!? 実績積み上げ階段上ることが大事

7年後「浜名湖実現を」

伊勢志摩サミットには色々な気持ちがある。

「伊勢神宮もある地から世界へメッセージを発信したというのは大変意義深いです。安倍総理が培ってきた「地球儀を備置する外交」の結晶だと思えます。また三重県産の鈴木英敏知事は選挙に応援に行った件です。お祝いの電話もしました」

「実は伊勢志摩に決まった昨年の選挙では、地元・浜松市も立候補していた」

「残念な気持ちはありますが、また7年後に『浜名湖サミット』実現を目指します」

「その頃は城内外務大臣でしうか」

「地元でもそういう声を頂きありがたい気持ちですが、今は実績を積み上げて一歩ずつ階段を上ることが一番大事です。何か前回の『信念通信』でも同じことを言った気がしますが(笑)」

「中国による不当な「防空識別区」設定や北朝鮮による弾道ミサイル発射が起きた頃です。私は党の外交政策責任者として党としての抗議声明を作成・発表しました」

「外務副大臣としては世界中を飛び回った」

「アジアの21か国、大洋州(オセアニア)の15か国、アフリカの49か国、全体で139か国を担当しました。外国の要人の面会や海外訪問など、時間がいくらあっても足りませんでした」

「今の安倍政権では、5月26、27日に伊勢志摩サミット、そして同27日には米オバマ大統領が広島を訪問した」

「今さら言うことではないですが、現職の大統領が核兵器が投下された都市を訪れるのは史上初です。歴史的な瞬間だったと思えます」

3度「造反」も要職任される

2010年の郵政民営化法案採決時、城内氏は当時の安倍幹事長代理が説得するのを振り切って反対票を投票。テレビで何度も流された有名なシーンだ。

この時を含めこれまで安倍

首相に3度「造反」した。端から見るにわたかまきりも残りそうだが、決してそうではない。その後、城内氏が離党して無所属になっても安倍氏は「ハーテイー」に出席。それどころか、折に触れて何度も「戻って来ないか」と声をかけてくれたという。

12年の総裁選、永田町では「石破茂氏が石原伸晃氏か」という空気があった。その中で安倍氏が出馬に意欲を見せる。城内氏は反対した。二度、総理を経験した方が出馬して負けると政治生命に関わりま

す。今度は安倍氏が城内氏の意見を振り切って出馬。首職を任せ、それを見ると、安倍首相も「ご苦労さん。頑張ってる?」など声をかけてくれるという。

5月に安倍首相が成功させた伊勢志摩サミットを見て城内氏の胸に去来するものがあった。あの総裁選で安倍総理が勝ったときの安倍感が忘れられない。サミットの成功は感無量です」



▲▲ 星城国際高校浜松学習センターにて特別授業

▲▲ 地元の皆様を国会にご案内

▲▲ 三ヶ日認定協の皆様と林農相(当時)への陳情

▲▲ 遠藤五輪担当相に五輪施設の天童材使用を要望

▲▲ 森山農水大臣へ天童林業研究会の陳情

▲▲ 天童川にて浜松市水防演習

▲▲ フィリピンにて神政連の慰霊祭に参加



▲▲ 鳥類保護議員懇話会主催の集まりにて



▲▲ 日・メコンサミットにて



▲▲ 新東名高速道路浜松・いなさ豊田東開通式典にて



▲▲ 党本部にて郵政連申し入れ

▲▲ 湖西市議団と丸川環境大臣を往訪し要望書を手渡す



▲▲ 盛山法務副大臣へ司法修習生の給費制実現を要望



▲▲ 永田町の氏神さま・日枝神社に参拝

お祭りシーズン!! 元気もらってます



1日10か所以上 声 大切に

夏祭り、秋祭りのシーズンになりました。選挙区内には500を超える自治会、町内会があります。お祭りは地元のメインイベント。それ以上の数のお祭りが行われているでしょう。地元にとって大事な行事なので、その日だけは都市部へ引越した人も子供や家族を連れてふるさとに帰ってきます。かつて橋下徹前大阪市長が「国会議員が祭りを回って意味があるのか」と言ったようです。いきなり土足で入り込むようにお邪魔したらそうかも知れませんが、でも私は落選時代からずっと通っていますので、色んな年代の人とざっくばらんに話せます。山の集落では「林業が大変なんです」。別の場所では「消防団員のなり手がなくて…」など色々と聞こえてきます。神主さんもお大変ですが、私も朝から晩まで10か所、時には20か所以上回ります。時間的にはタイトですが、皆様の声と一緒に元気ももらっているの不思議と疲れな感じです。



▲▲ 湖西市入出地区の屋台後魂式にて



▲▲ 西区大山町の馬頭観音初午祭りにて乗馬



▲▲ 引佐久留女木の棚田で稲刈り

城内 実 略歴

城内 実(きうち・みのる)1965年4月19日生まれ。東京大学卒業後、外務省に入省。在ドイツ日本国大使館勤務。天皇陛下、総理らのドイツ語通訳官を経て、2002年に退官。地元の自民党支部長公選に応募し、03年、衆議院議員初当選。05年の「郵政」総選挙で748票差にて惜敗するも、09年総選挙で再選。これまで法務委員会、文部科学委員会、農林水産委員会、郵政民営化特別委員会などに在籍。12年、自民党に復党し12月の総選挙で3選。同月に発足した第2次安倍晋三内閣で外務大臣政務官に就任。13年、自民党外交部会長、14年9月、外務副大臣に就任。同年12月の総選挙で野党候補に約10万票の大差をつけて4選し、外務副大臣に留任。現在、党行政改革実行本部副本部長、国際局長代理、法務委員会、外務委員会、拉致対策特別委員会などに所属。4期目。

第47回衆議院議員総選挙(平成26年12月14日執行) 静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	自民	132,698	70.93%
松本 泰高氏	民主	37,654	20.12%
野澤 正司氏	共産	16,743	8.94%
有権者数327,260人 投票者数191,264人 投票率58.44%			

第46回衆議院議員総選挙(平成24年12月16日執行) 静岡県第7選挙区 小選挙区開票結果

候補者名	党派	得票数	得票率
城内 実	自民	125,315	59.60%
斉木 武志氏	民主	40,452	19.24%
河合 純一氏	みんな	29,966	14.25%
落合 勝二氏	共産	7,413	3.53%
野末 修治氏	未来	7,105	3.38%
有権者数327,416人 投票者数214,087人 投票率65.39%			

次男の蝶師匠 鳩山邦夫さんとの約束かなわす

元法相の鳩山邦夫先生が亡くなってしまいました。家族ぐるみでお付き合いしていた方なので、大変なショックを受けています。

次男が勉強そっちのけで凶鑑を読みふけるほど蝶が大好きで大好きで。その縁で鳩山さんにとっても可愛がってもらいました。家族で自宅にあげてもらい、標本などの棚も見せてもらいました。鳩山さんの地元・久留米に珍しい蝶がいると、新幹線のチケットを手配してくれて早朝に次男を呼んでくれもしました。

ある時は議員会館にミカン箱くらいの段ボールが届き、開けてみると重さ10kg。以上もある植木鉢。土の上にサナギが10匹近く置いてあり「湿度が一」「虫が入らないように網を一」と手書きで手ほどきがあり、最後に「春頃に羽化するよ」とありました。息子が宝物のように育て成虫になると一緒に喜んでくれる優しい方でした。



実は亡くなる10日くらい前に携帯に電話がありました。「7月に(軽井沢にある)別荘の近くに『アサマシジミ』を捕りに行こう」とのお誘い。打ち合わせもしていました。もう自分の体が良くないことも分かっていたと思います。それなのに、うちの子供のことを気にして頂いて…。もう言葉になりません…。ご冥福をお祈り致します。



お問い合わせ
 [浜松事務所]
 〒433-8112 浜松市北区初生町691-1
 TEL(053)430-5789 FAX(053)430-5756
 [国会事務所]
 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
 衆議院第二議員会館623号室
 TEL(03)3508-7441 FAX(03)3508-3921
 E-mail: info@m-kiuchi.com
 U R L : https://www.m-kiuchi.com



メール会員登録募集中!

城内みのるの最新の活動報告や、新聞・雑誌掲載情報などをいち早くメールでお知らせしています!



アクセスはこちらから!